下総基地内から
4500ng/ℓのPFASが検出！

―基地内排水口と敷地外水路の値がピッタリ―

下総基地周辺では、健康への影響リスクのあるＰＦＯＳ・ＰＦＯＡの高い値が水路（21000ｎｇ/ℓ・2100ｎｇ/ℓ）、井戸水（42000ｎｇ/ℓ・2000ｎｇ/ℓ）から検出されています。

下総基地は 2024 年 8/29 千葉県・鎌ヶ谷市・柏市・白井市から依頼された水質調査を（2024 年 10/24 実施すると回答）2025 年３月５日に採水し調査しました。

その結果が出ました（3/28）。採水地点は下総基地内排水口７地点のうち４地点、湧水３地点のうち２地点です。（千葉県・３市の調査発表は 3/31）

調査結果

水質調査を行った全ての地点でＰＦＯＳ及びＰＦＯＡが検出され、排水口３地点で暫定指針値（50ng/L 以下）を超過していました。

単位：ng/L

採水場所	ＰＦＯＳ	ＰＦＯＡ	ＰＦＯＳ及びＰＦＯＡの合計値
排水口１	4,100	390	4,500
排水口２	97	5.7	100
排水口３	0.5	1.5	2.0
排水口５	1,700	24	1,700
湧水２	0.8	1.5	2.4
湧水３	20	2.3	23

☆同時に柏市が下総基地外の水路の水質を調査しました。（2025 年 3/5）

排水口１の下流：PFOS：2800ｎｇ+ＰＦＯＡ：400ｎｇ＝3200ｎｇ/ℓ

排水口５の下流：ＰＦＯＳ：1600ｎｇ+ＰＦＯＡ30ｎｇ＝1600ｎｇ/ℓ

この調査の結果

「金山落のＰＦＯＳ及びＰＦＯＡの超過原因の一つは基地からの排水と考えられます」と千葉県も柏市もはっきりと**下総基地が原因の一つと確認**しました。

≪その理由≫

ⅰ）今回の調査結果で高い濃度を示した排水口１，および排水口５は金山落に流入する敷地外水路への接続が確認されている。

ⅱ）排水口１及び５と敷地外水路で同程度の濃度が確認されている。

排水口１：4500ｎｇ/ℓ・敷地外水路：3200ｎｇ/ℓ

排水路５：1700ｎｇ/ℓ・敷地外水路 1600ｎｇ/ℓ

ⅲ）これまでの周辺事務所への聞き取り調査から、金山落周辺にＰＦＯＳ及びＰＦＯＡの使用・保管実績がある事業者等が基地以外にないこと。

今後の対応（千葉県・柏市）

ⅰ）県民の健康被害の未然防止と不安の払しょくのため、千葉県及び近隣関係市と連携して

基地に対し、流出防止対策等、必要な対策の実施について依頼。

ii）周辺井戸（地下水）の汚染原因特定のため、関係市と連携して地下水調査を継続します。

3/31 に下総基地内の現地調査（福島みずほ参議院議員の依頼で）をした鈴木清丞さん大野ひろみさんらは下総基地の水質調査地点の現場を見たとのこと。

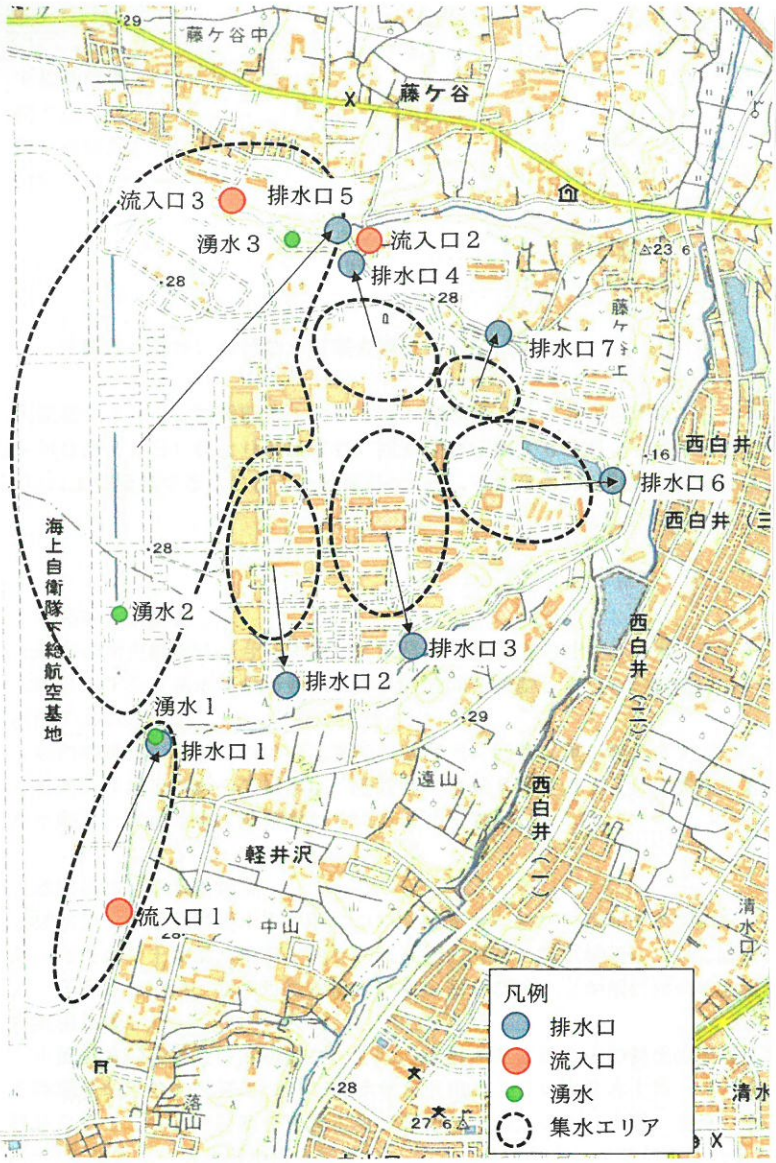
現地調査でわかったこと

○4500ng/ℓが検出された排水口１（消火訓練場から 100mぐらいのため池みたいなところ）は板と土嚢で暫定的にふさいでいた。

○100ng/ℓ（消火訓練場に近いところ）の排水口も板と土嚢で塞いであった。

○1700ng/ℓが検出された排水口５（基地北東部の窪地にある）も外部に流れ出ていくので暫定的に板と土嚢でふさいでいた。この窪地は平成５年燃料タンク爆発火災（死者が３人も）が起こったところから 200mぐらいのところで消火活動の水などが流れ込んでいたところです。

○それぞれの板や土嚢は 3/28 に県と相談して設置したとのこと。



今回の調査結果で、これまでの基地周辺の水路の高い PFAS 汚染の発生源が下総基地であることが明らかになりました。

今後の課題は

① 下総基地内の土壌・地下水等について徹底的に調査して下総基地の PFAS 汚染の実態を明らかにする必要があります。

② 基地周辺の井戸諸元調査（地下水の流れ）を、下総基地の地下水と周辺井戸水との関連できちんと調査すること。

③ 下総基地からの PFAS 汚染された水等の流出防止対策を下総基地が早急に実施する必要があります

④ 防衛省（下総基地）が①②③の上に。以下の事案についても責任をもって対応する必要があります。

*周辺住民の飲料水の確保・健康フオロー（血液検査と健康診断）への対応

*下総基地内の PFAS 汚染の除去あるいは囲い込み（土壌・地下水を含め）

*基地外の井戸水の PFAS 汚染の除去の徹底化

*自治体が PFAS 対応していくことへの全面的な財政支援

これから PFAS 汚染で発生する事案を含めて国が全面的に対応することが求められます。

*「民主主義と自治そして平和主義」藤代政夫　　047-445-9144